

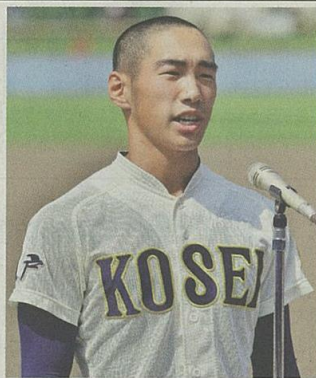
第65回 高校野球 春季東北大会

▷ 第1日 ◁

第65回春季東北地区高校野球大会は7日、青森市で開幕した。青森市営球場で開会式が行われ、青森第1代表・八学光星の主将長南佳洋が選手宣誓した。その後、同球場と青森県営球場で計4試合を行った。

1回戦は、青森第3代表の弘前工が利府(宮城第3)に6-5で競り勝った。2回戦では、青森第2代表の弘前東が古川学園(宮城第2)に8-1でコールド勝ちを収めた。

8日は2回戦の計6試合が予定され、八学光星が盛岡中央(岩手第3)と、弘前工が聖光学院(福島第1)とそれぞれ対戦する。(取材班)



選手宣誓する八学光星の主将・長南佳洋



開会式で堂々とした行進を披露する青森第1代表の八学光星ナイン

「がむしやらに戦う」 光星・長南選手宣誓

○:6年ぶりに青森県で行われた東北大会で、八学光星の主将長南佳洋が選手宣誓を堂々と務めた。

東北6県の強豪が集う中、「日頃から支えてくれる人に感謝して、大好きな野球を通して感動を与えられるよう、がむしやらに勝

利に向かい全身全霊を懸け、最後まで戦い抜くことを誓います」と声を張り上げた。

大役を終え、長南は「よくてきた。100点と満足は、8日の初戦に向け、いい刺激になった。優勝を目指す」と意気込んだ。